

15年前、IDSはUSBインターフェイス搭載の産業用カメラを初めて市場に投入しました

パイオニア精神で成功へ



写真 (© IDS Imaging Development Systems GmbH) : uEye、2004年に発売したUSB採用の初めての産業用カメラ

2004年4月、IDS Imaging Development Systems GmbH はUSBインターフェイスを採用した初めての産業用カメラを市場に出しました。これによって、IDSは高性能デジタルカメラにUSB技術を活用したパイオニアの1社となりました。当時すでに、USBは消費者向け用途で広く利用されていましたが、産業用途には不向きだと考えられていました。それから15年を経た現在、USBは産業用途でもすっかり定着しました。

IDSの創設者Jürgen Hartmannは次のように振り返ります。「初めのうち、USBを利用するという判断は冷ややかな目でみられました。しかし当社は、USBを産業用途にも適したものだと考えていました。USBは消費者市場の厳しさで鍛え抜かれています。そのため、低コストかつ高性能なカメラを開発するのにも最適な選択だとみたからです」。IDSは、わずか1年で、アナログ画像キャプチャボードの開発から、デジタル産業用カメラへの移行を果たしました。その後、USBインターフェイスは第3世代が登場し、IDSと同様、市場に欠かせない存在となっています。今やIDSは、優に100万台以上のカメラを売り上げ、産業用カメラ市場におけるリーディング企業の1つとなりました。

2004年当時に比べ、製品ラインナップも大きく拡大しました。現在では、USB 2.0・USB 3.0・USB 3.1 Gen1インターフェイスに対応した600以上のモデルを展開しています。さらに今、人工知能を搭載したビジョンアプリ・ベースの産業用カメラIDS NXTによって画期的な開発を実現し、お客様に新たなメリットをご提案するに至っています。

詳しい情報は: <https://jp.ids-imaging.com/home.html>

IDS Imaging Development Systems GmbH について

産業用カメラメーカー IDS Imaging Development Systems GmbH は、高性能で使いやすい USB、GigE および 3D カメラを開発し、多彩なセンサーとモデルを取り揃えています。その応用範囲は無限といっても過言ではありません。研究開発分野でも、装置や工場設備など機械工学を始めとする産業分野でも様々な活躍しています。定評のある CMOSセンサーカメラに加えて、IDS ではビジョンアプリベースのセンサーとカメラも製品ラインナップとして展開しています。なかでも斬新な画像処理プラットフォーム IDS NXT は、自由にプログラミングでき、汎用性に優れています。

1997年に社員2人の会社として創立して以来、IDSは、社員280名以上の独立したISO認定ファミリー企業へとグローバルな発展を遂げました。本社はドイツ・オーバーズルム（バーデン＝ヴュルテンベルク）にあり、開発と生産を一貫して担っています。またアメリカ、日本、韓国、イギリスの支社およびヨーロッパ諸国のオフィスによって、IDSは国際的なプレゼンスを確立しています。

アイ・ディー・エス株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川1-1-16 第2小池ビル7階

Sales contact

電話番号: +81 3 6260 0833
apacsales@ids-imaging.com
<https://jp.ids-imaging.com>

IDS Imaging Development Systems GmbH
Dimbacher Str. 6-8, 74182 Obersulm, Germany
Claudia KIRSCH
電話番号: +49 7134 96196 0
c.kirsch@ids-imaging.de
www.ids-imaging.com